

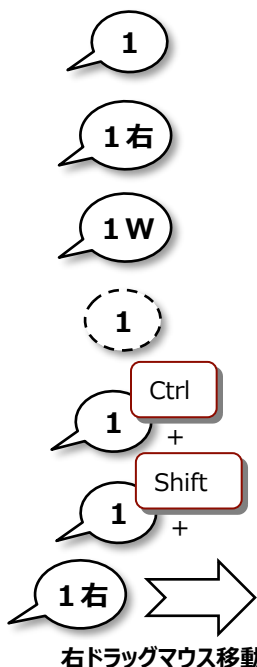
～レイヤー編～

目次

CADEWA Smartのレイヤーを操作しましょう

1. 入力レイヤーを指定しましょう
 - ・ レイヤーとは
 - ・ 図面を開く
 - ・ 入力レイヤーの指定
2. レイヤーを分解表示して確認しましょう
 - ・ レイヤー分解
 - ・ オブジェクトが存在するレイヤーのみ表示する
 - ・ 表示・非表示状態の切替
 - ・ クイック設定への保存
 - ・ 入力レイヤーに設定し、他のレイヤーは非表示にして終了
 - ・ クイック設定の呼出し
 - ・ レイヤー移動
3. レイヤーの一覧を確認しましょう
 - ・ レイヤー（一覧）
 - ・ フォルダーとレイヤーの作成
 - ・ 3DCG透過度の変更
 - ・ 保存したクイック設定の読込
4. レイヤー表示状態をレイヤーシートへ保存しましょう
 - ・ レイヤーシート管理
 - ・ レイヤーシートの切替
 - ・ 非カレントレイヤーシートの一時表示
5. 図面を保存しましょう
 - ・ 名前を付けて保存

マウスの使い方

- 
- 1 …指示位置をクリック (左クリック) します。
 - 1 右 …指示位置をマウス右ボタンでクリックします。
 - 1 W …指示位置をダブルクリック (左2回クリック) します。
 - 1 …マウスを表示位置に近づけます。
 - 1 + Ctrl … [Ctrl] キーを押しながらクリック (左クリック) します。
 - 1 + Shift … [Shift] キーを押しながらクリック (左クリック) します。
 - 1 右 → …マウス右ボタンをクリックしたまま移動します。
- 右ドラッグマウス移動

1 入力レイヤーを指定しましょう

レイヤーとは

1枚の図面を何枚かの透明なシートに分けて作画できる機能です。レイヤーを書き分けることで、表示・検出、非検出の切替を行うことができ、効率的な編集や設備毎の表示などに便利です。

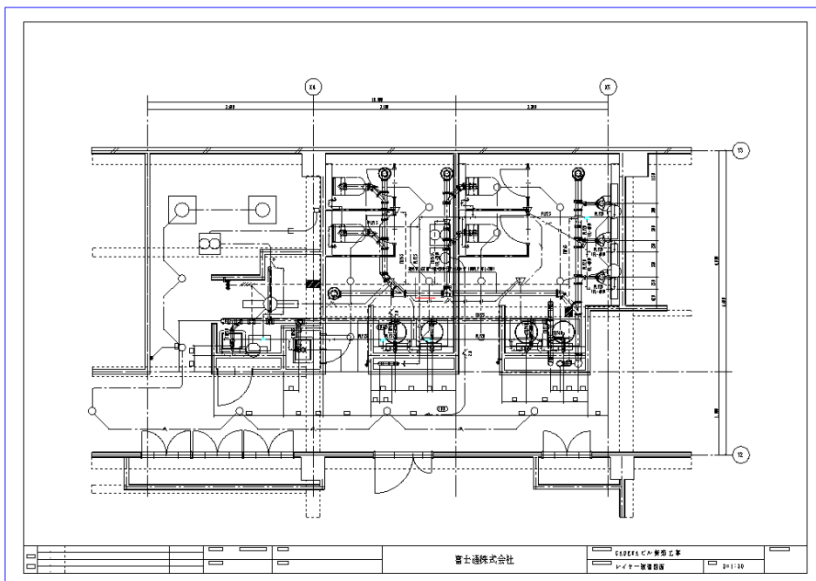
図面を開く

使用する図面は [Smart_70_C03_レイヤー開始.ZDW]

リボンの「ホーム」から「開く」をクリックします。

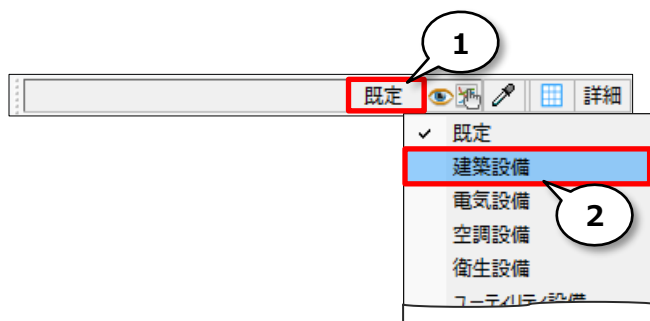


ファイルを選択し、「開く」をクリックします。

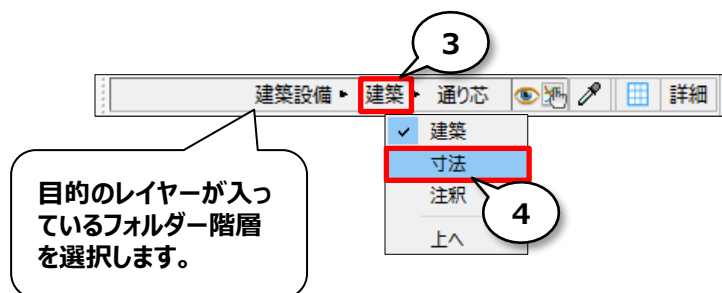


➤ 入力レイヤーの指定

レイヤーツールバーから入力レイヤーを指定します。
「既定」レイヤーをクリックし、「建築設備」フォルダーを選択します。



「建築」-「寸法」フォルダーをクリックします。



「寸法」レイヤーをクリックします。



補足 説明

設備部材の入力レイヤーについて

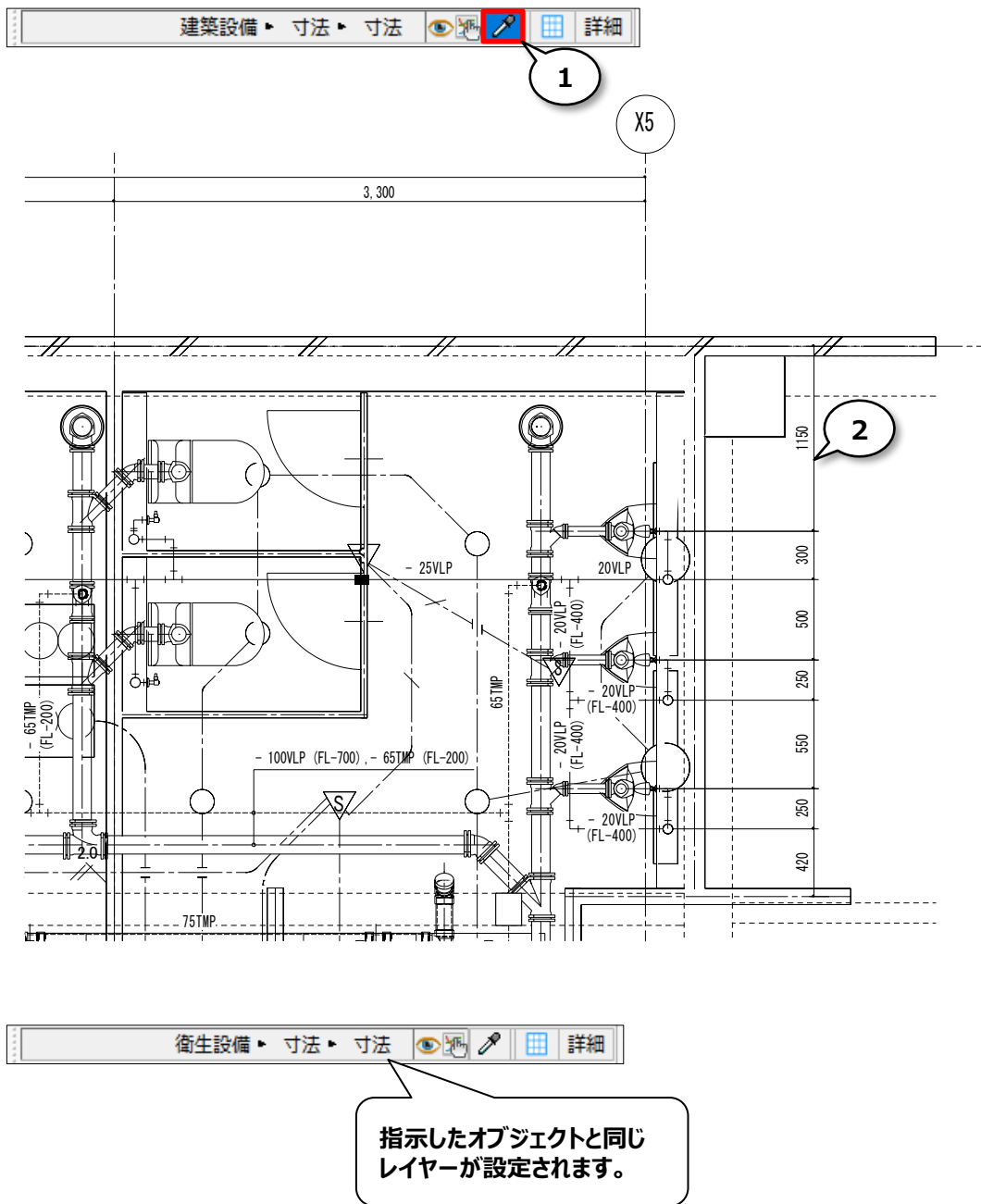
汎用オブジェクトは「レイヤー設定」で指定されたレイヤーに作画されますが、設備部材は部材によって入力レイヤーが切り替わります。

空調衛生や電気の器具は、それぞれの器具ごとに作画レイヤーが割り当てられており、器具を選択するとその器具に割り当てられたレイヤーが自動で入力レイヤーにセットされます。

建築部材や配管、ダクト、ケーブルラックなどは、選択したプリセットに作画レイヤーが割り当てられており、作画時に選択したプリセットに割り当てられた作画レイヤーが入力レイヤーにセットされます。

スポイトを利用したレイヤー設定

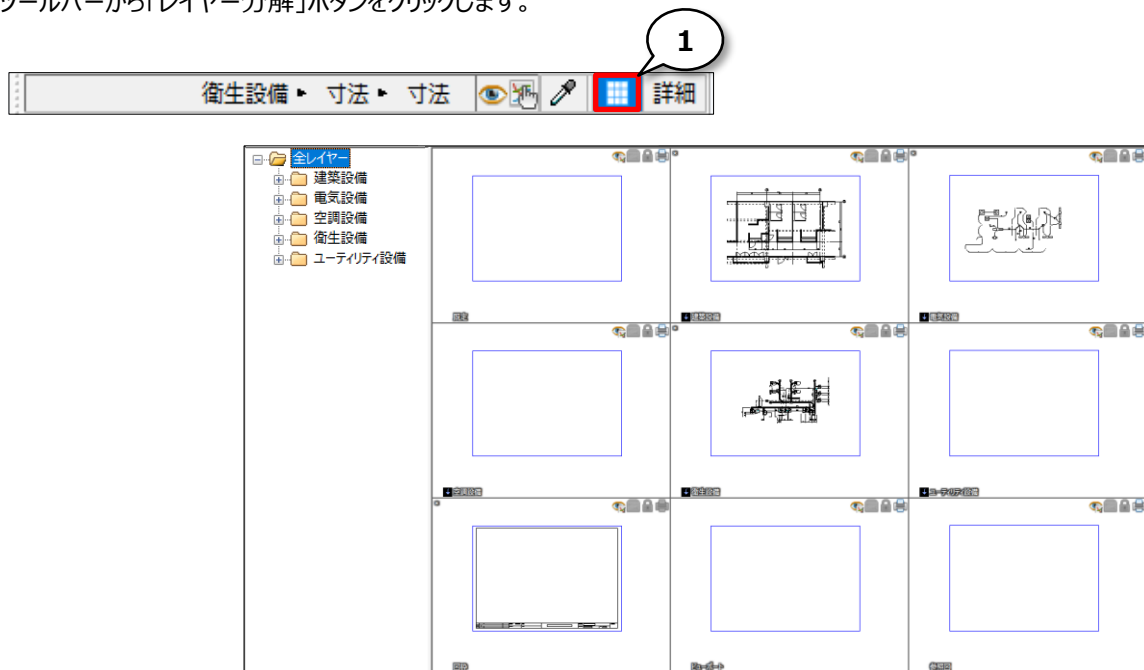
スポイトをクリックしオブジェクトを指示すると、指示したオブジェクトのレイヤーを取り込み、入力レイヤーに指定することができます。



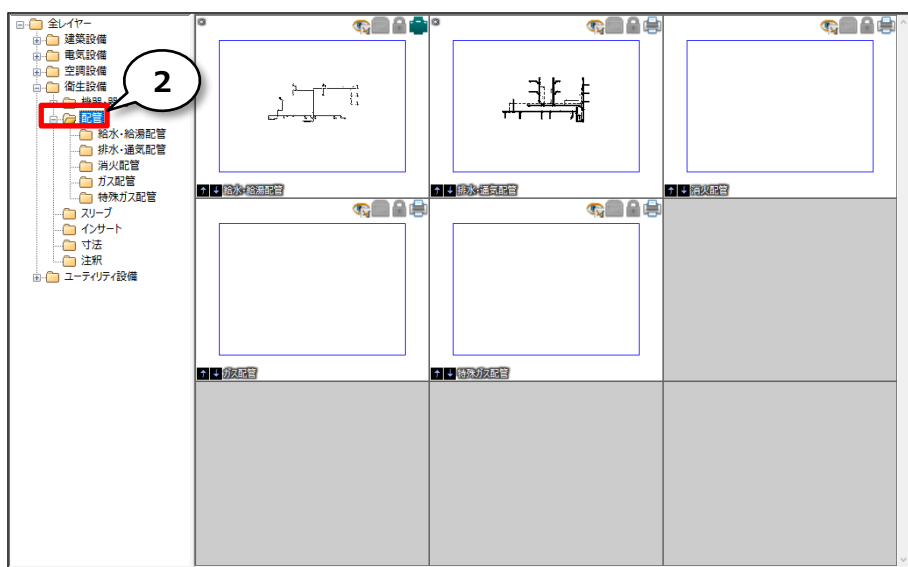
2. レイヤーを分解表示して確認しましょう

➤ レイヤー分解

レイヤーツールバーから「レイヤー分解」ボタンをクリックします。



分解表示したい階層を指定します。
「衛生設備」-「配管」フォルダーをクリックします。

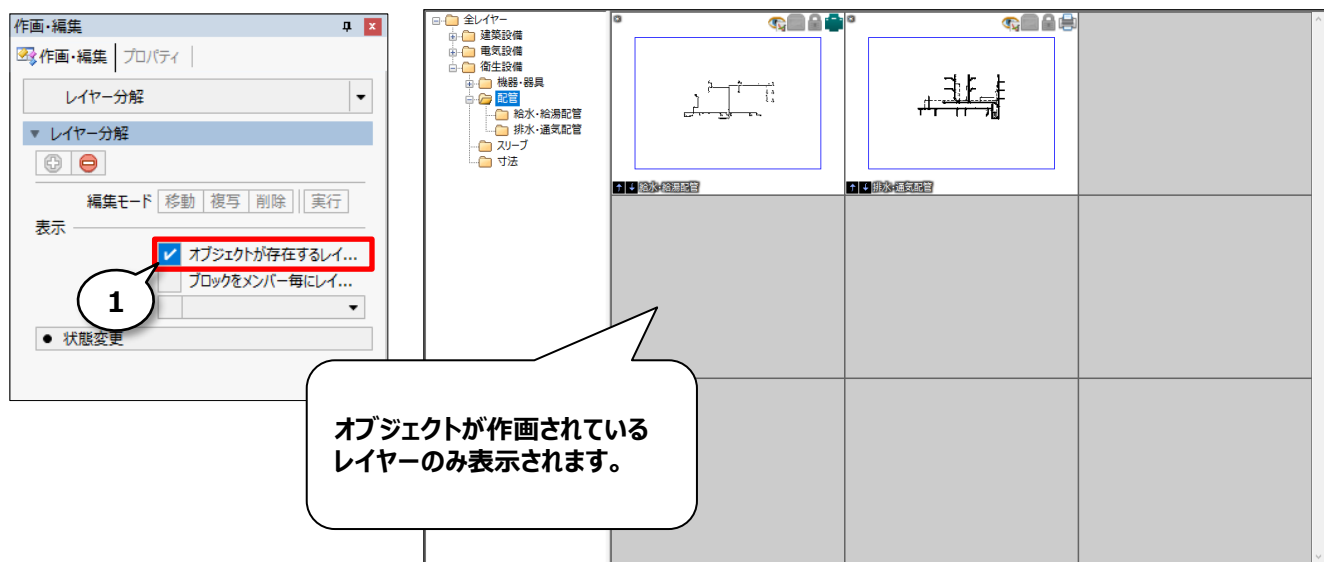


レイヤー階層

CADEWA Smartはあらかじめ設備毎のレイヤーフォルダーを用意しています。
階層の切り替えは、左のツリー表示からフォルダーを選択するか、右のフォルダ枠をダブルクリックして表示階層を変更します。

➤ オブジェクトが存在するレイヤーのみ表示する

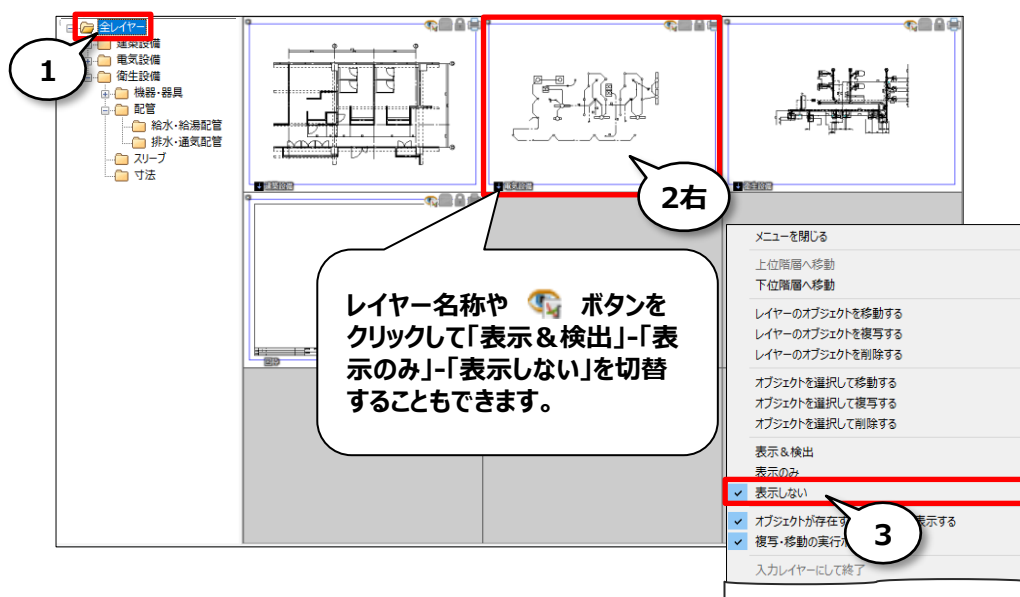
「オブジェクトが存在するレイヤーのみ表示する」をONにします。



➤ 表示・非表示状態の切替

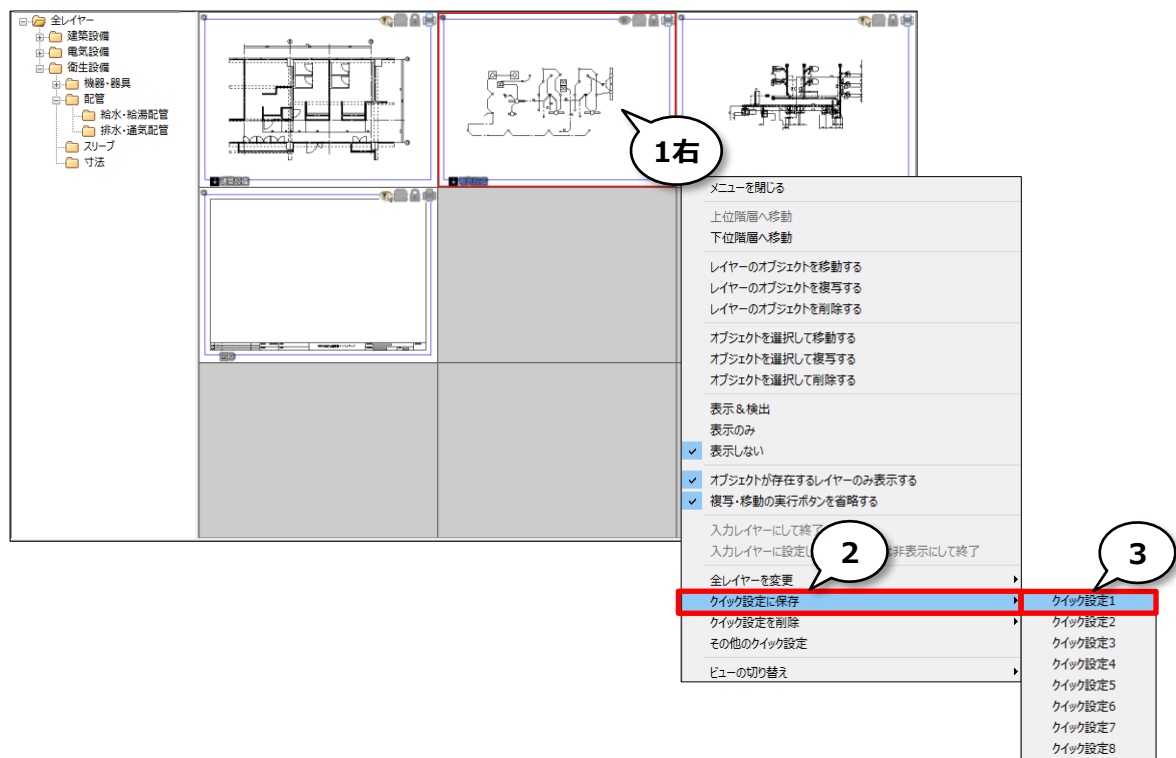
レイヤーの表示検出状態を変更します。

「全レイヤー」フォルダーをクリックし、「電気設備」フォルダー上で右クリックします。「表示しない」をONにします。



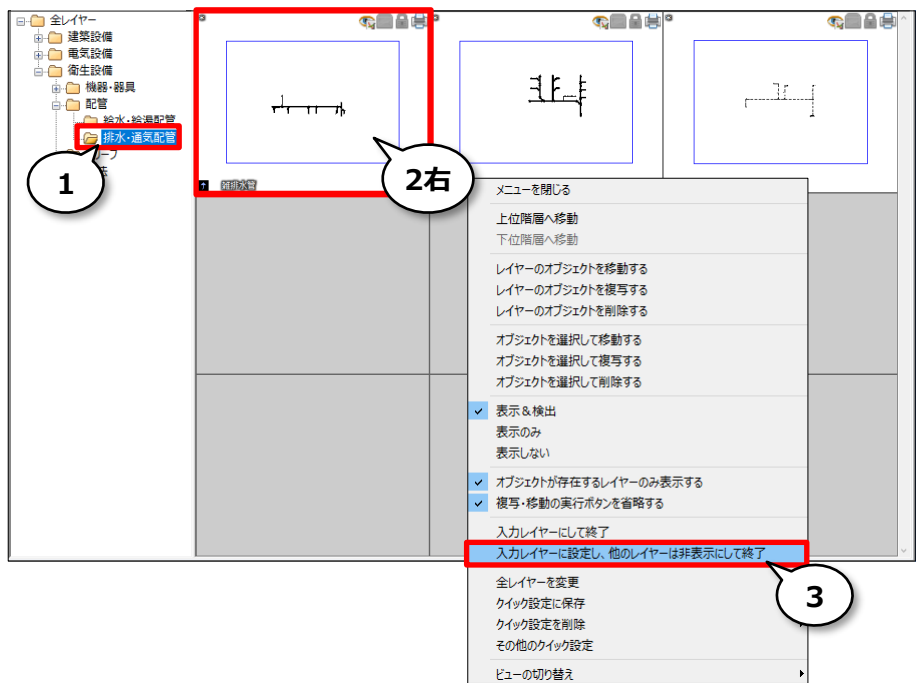
クイック設定への保存

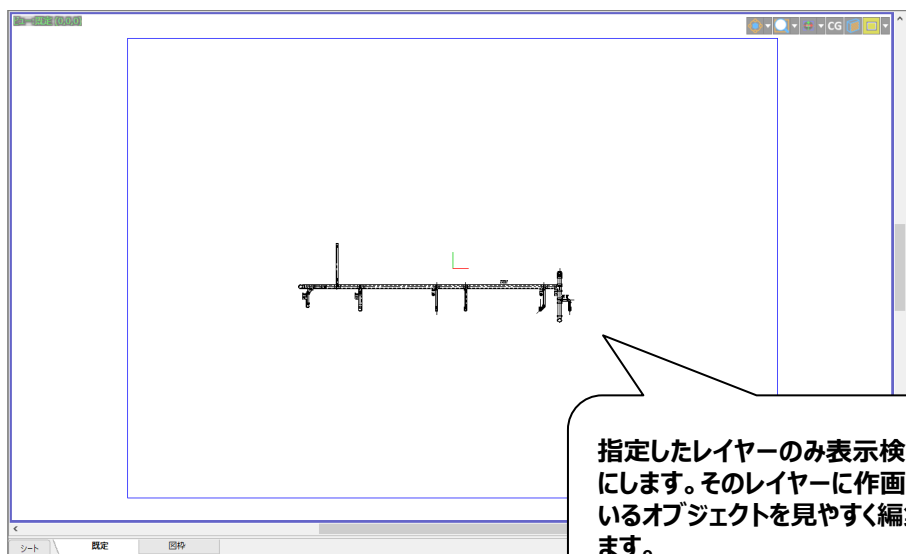
現在の表示検出状態をクイック設定に保存します。
右クリックし、「クイック設定に保存」から「クイック設定1」をクリックします。



入力レイヤーに設定し、他のレイヤーは非表示にして終了

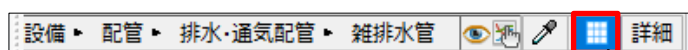
指定したレイヤーを入力レイヤーに設定し、他のレイヤーは非表示状態に切り替えます。
「衛生設備」-「配管」-「排水・通気配管」フォルダーをクリックします。「雑排水管」レイヤー上で右クリックし、「入力レイヤーに設定し、他のレイヤーは非表示にして終了」をクリックします。



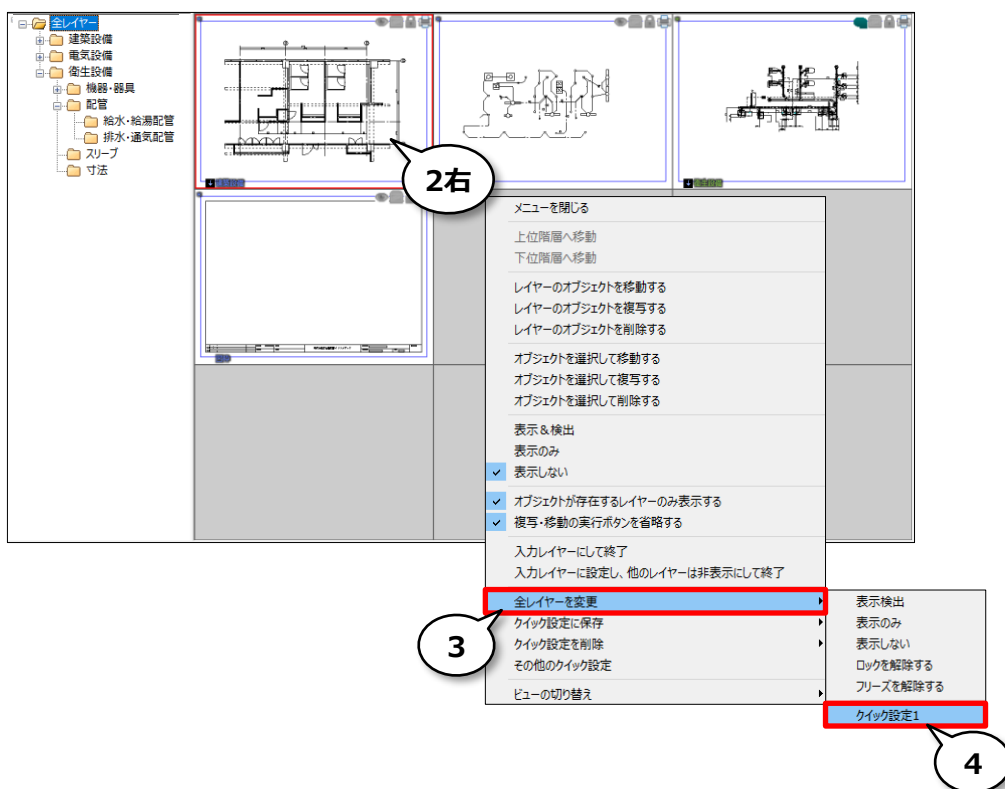


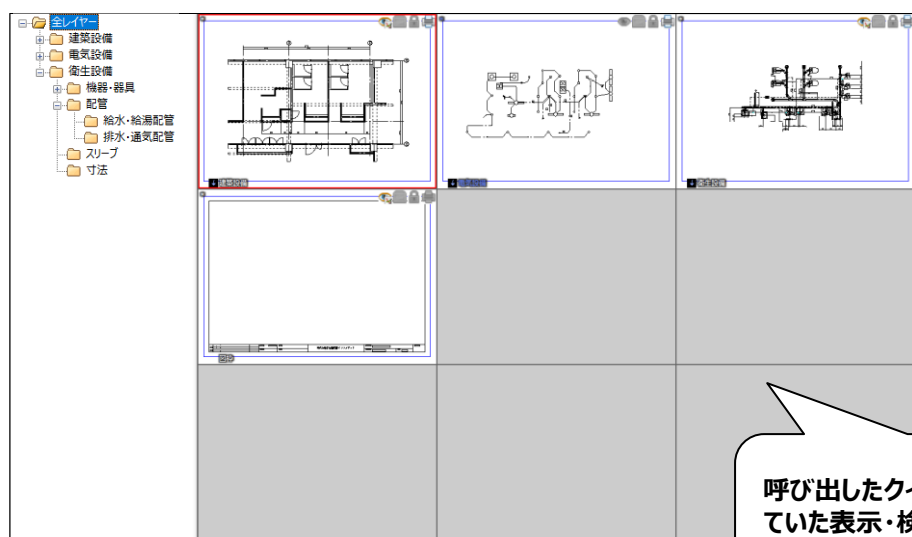
➤ クイック設定の呼出し

保存したクイック設定を呼び出します。
レイヤーツールバーから「レイヤー分解」をONにします。



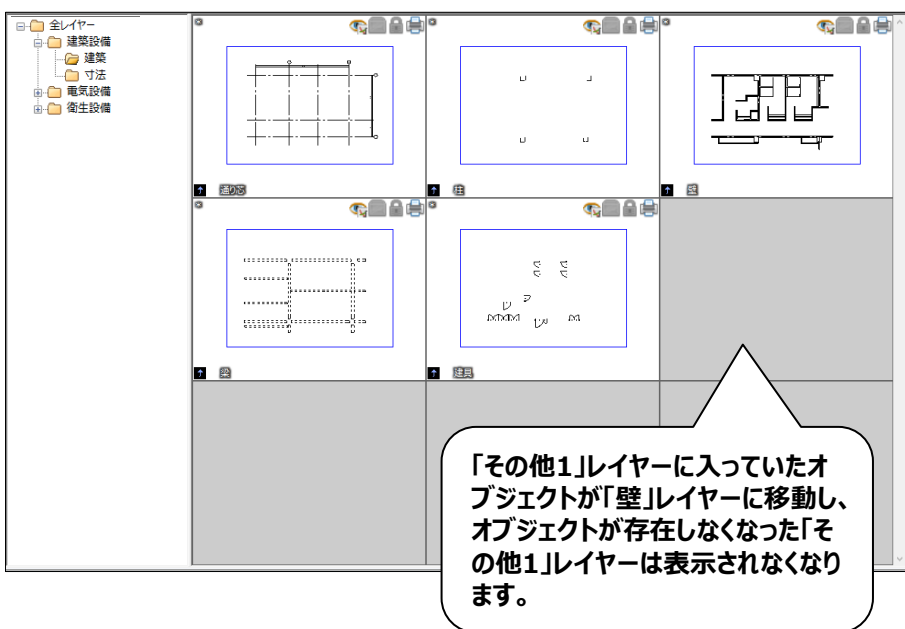
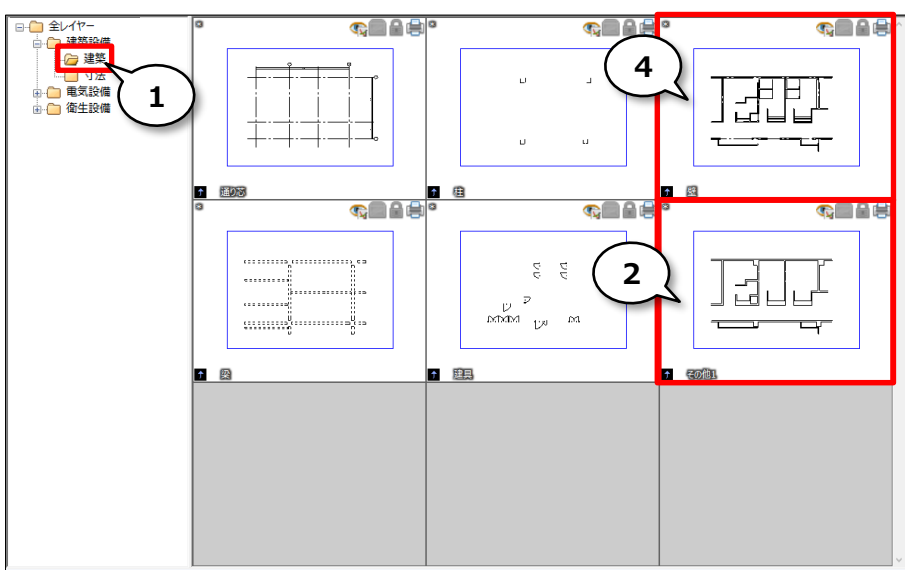
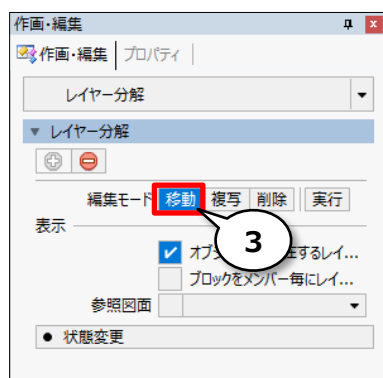
右クリックし、「全レイヤーを変更」から「クイック設定1」をクリックします。





呼び出したクイック設定へ保存していた表示・検出状態に切り替わります。

「建築設備」-「建築」フォルダーから「その他1」レイヤーをクリックします。編集モード「移動」をクリックし、移動先の「建築設備」-「建築」-「壁」レイヤーをクリックします。



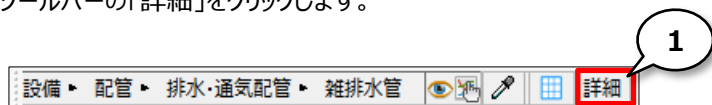
レイヤー分解を終了します。



3. レイヤーの一覧を確認しましょう

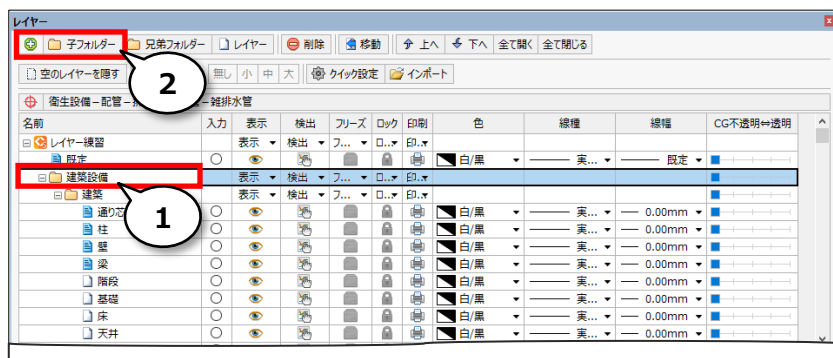
➤ レイヤー（詳細）

レイヤーを名称一覧で確認します。
レイヤーツールバーの「詳細」をクリックします。

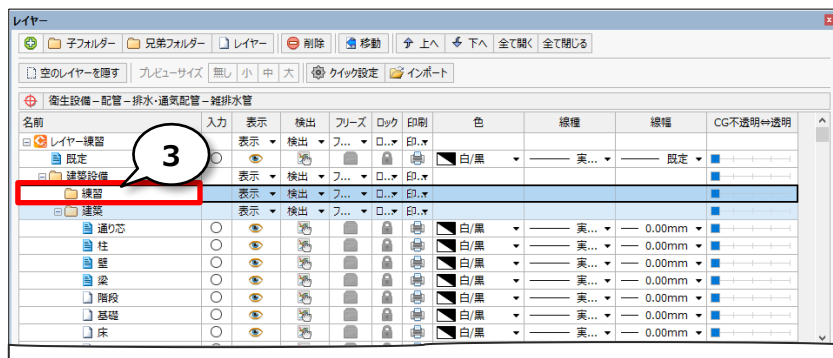


➤ フォルダーとレイヤーの作成

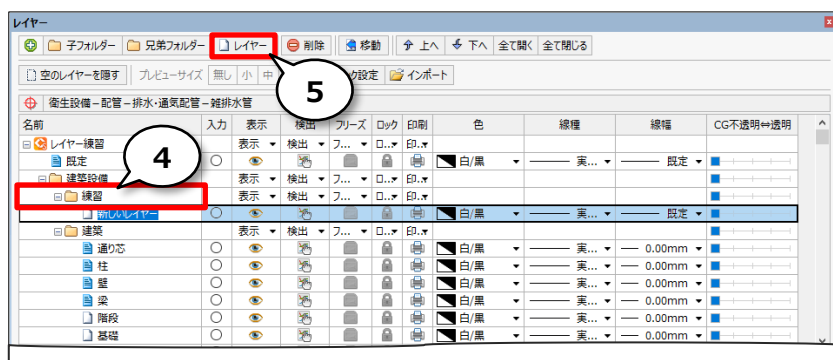
レイヤーのフォルダーを作成します。
「建築設備」フォルダーをクリックし、「子フォルダー」ボタンをクリックします。



フォルダー名称「練習」を入力します。



新しいレイヤーを作成します。
「建築設備」-「練習」フォルダーをクリックし、「レイヤー」ボタンをクリックします。

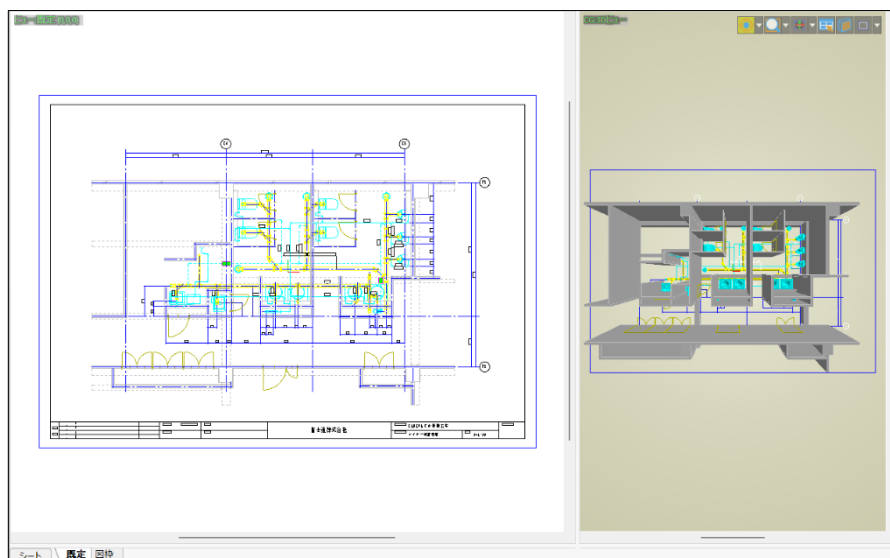
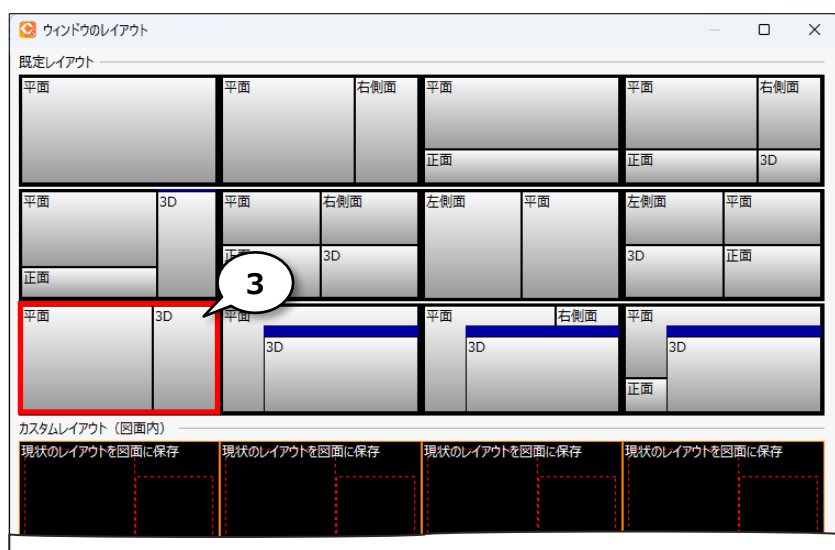


➤ 3DCG透過度の変更

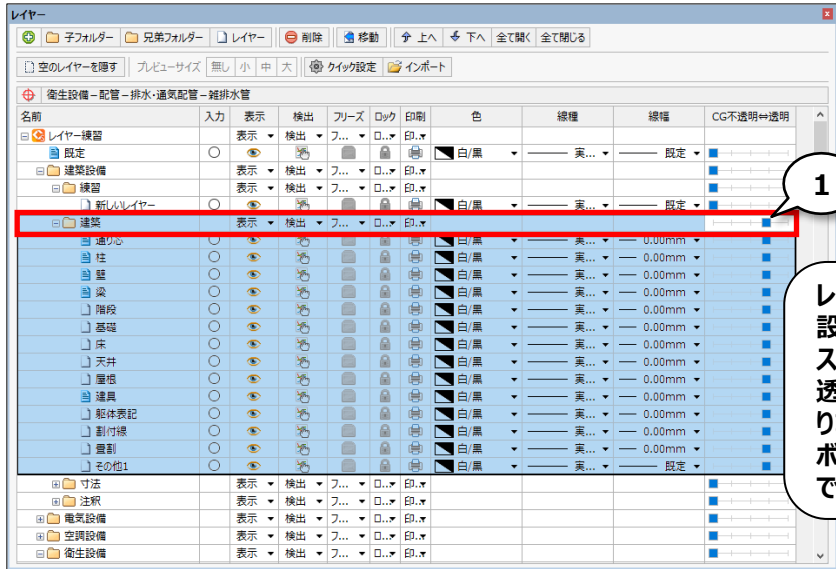
オブジェクトの3Dの透過度を変更します。
リボン「ウィンドウ」から「ウィンドウのレイアウト」をクリックします。



レイアウト「平面、3D」を選択します。

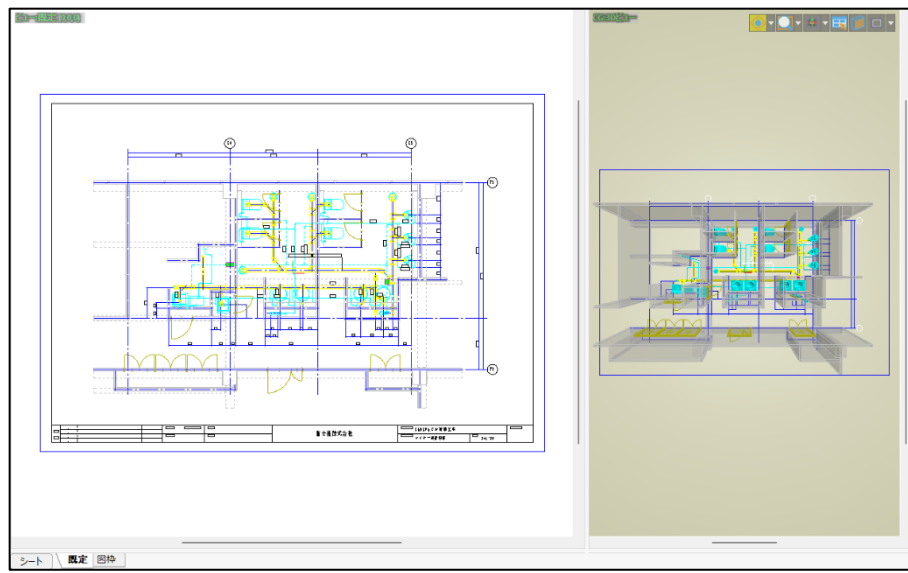


「建築設備」-「建築」フォルダーの「CG不透明⇄透明」のスライダーを移動します。

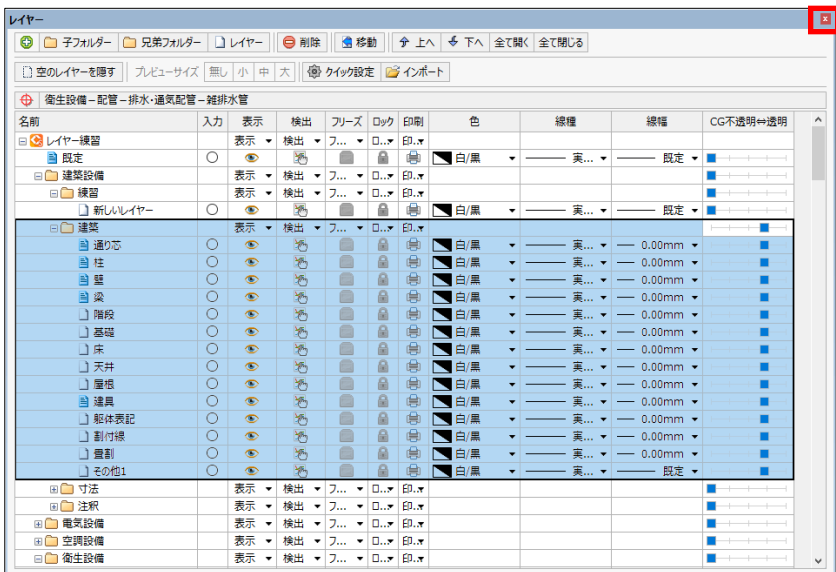


1

レイヤー毎に3DCGの透過度を設定することができます。スライダーを右側に移動すると、透過されてCG上の表示が薄くなります。(CGの透過度設定は、リボン「表示」-「3DCG透過設定」で表示した画面でも行えます。)



レイヤーパネルを閉じます。

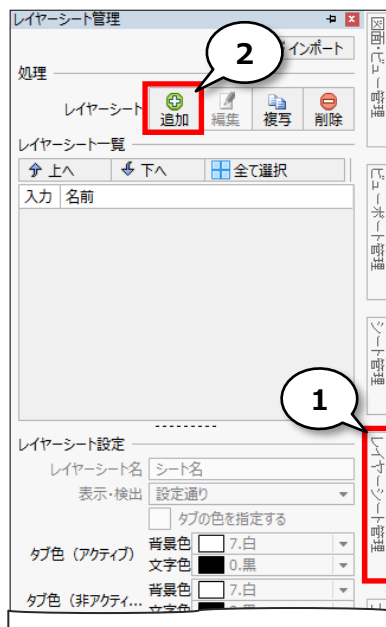


2

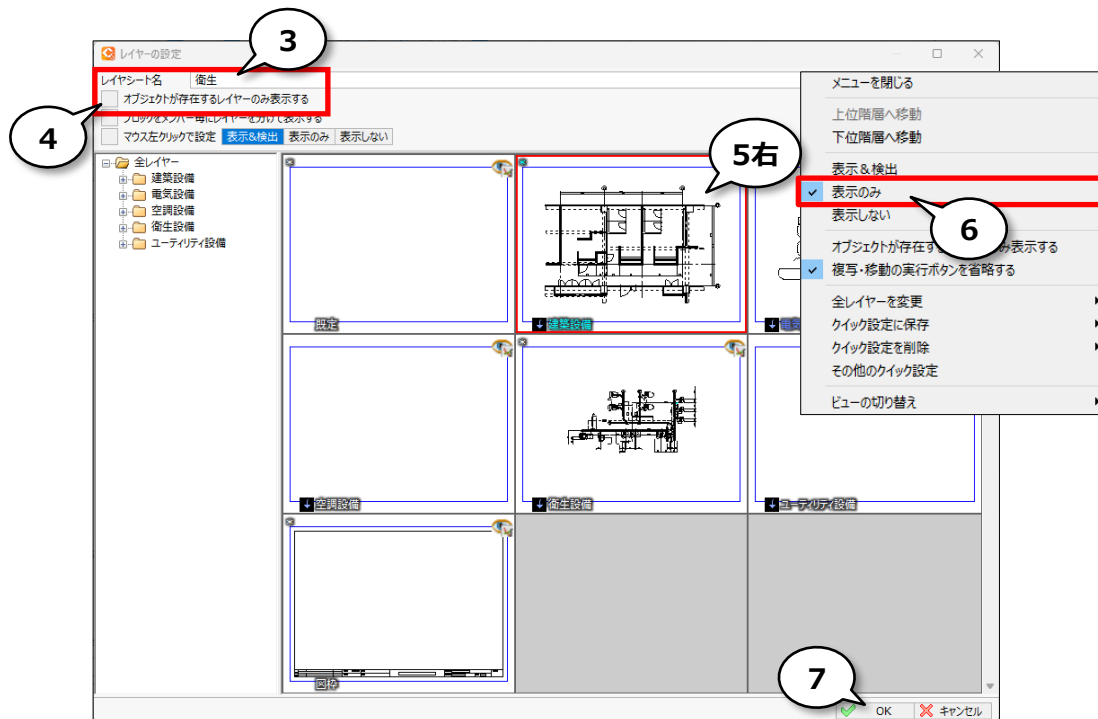
4. レイヤー表示状態をレイヤーシートへ保存しましょう

➤ レイヤーシート管理

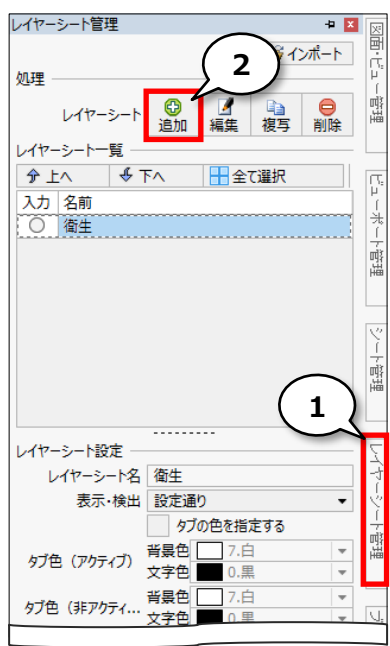
よく利用するレイヤーの表示検出状態をレイヤーシート管理へ登録します。
「レイヤーシート管理」タブからレイヤーシート「追加」をクリックします。



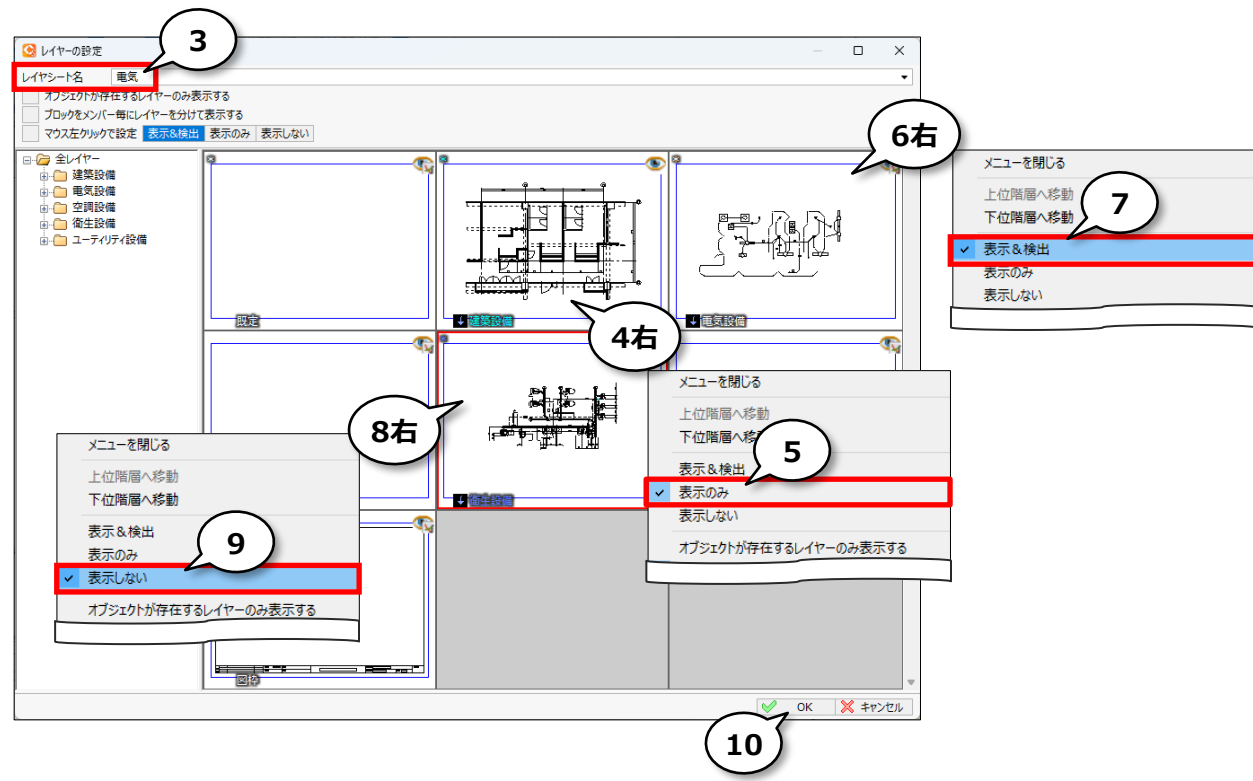
衛生用の設定を登録します。
レイヤーシート名「衛生」を入力し、「オブジェクトが存在するレイヤーのみ表示する」をOFFにします。建築設備を「表示のみ」へ変更し、OKします。



電気用の設定を登録します。
「レイヤーシート管理」タブからレイヤーシート「追加」をクリックします。

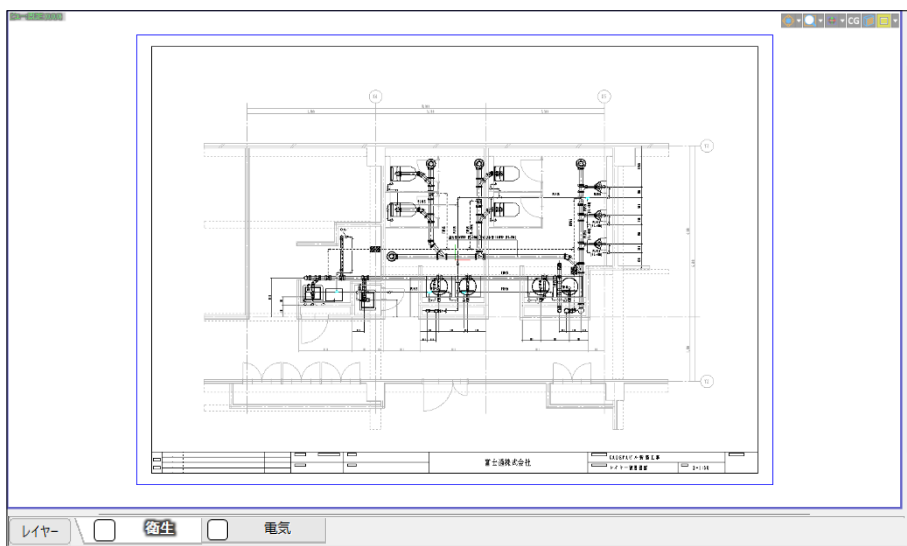
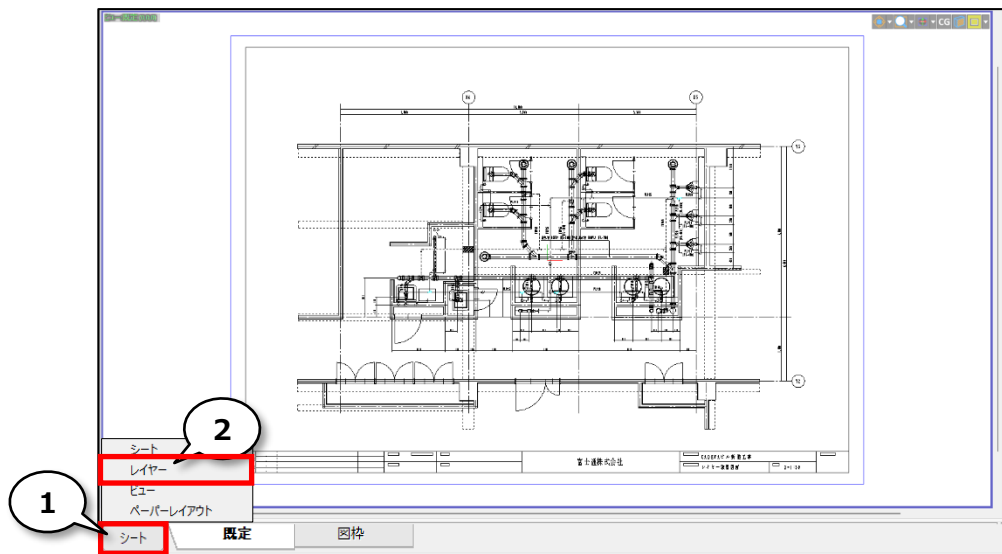


レイヤーシート名「電気」を入力します。建築設備「表示のみ」、電気設備「表示&検出」、衛生設備「表示しない」に変更し、OKします。

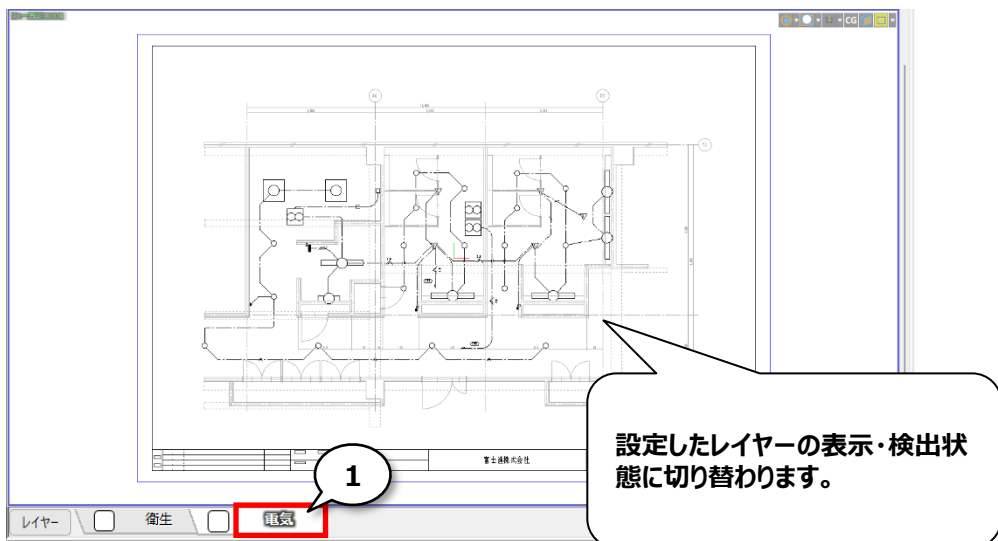


➤ レイヤーシートの切替

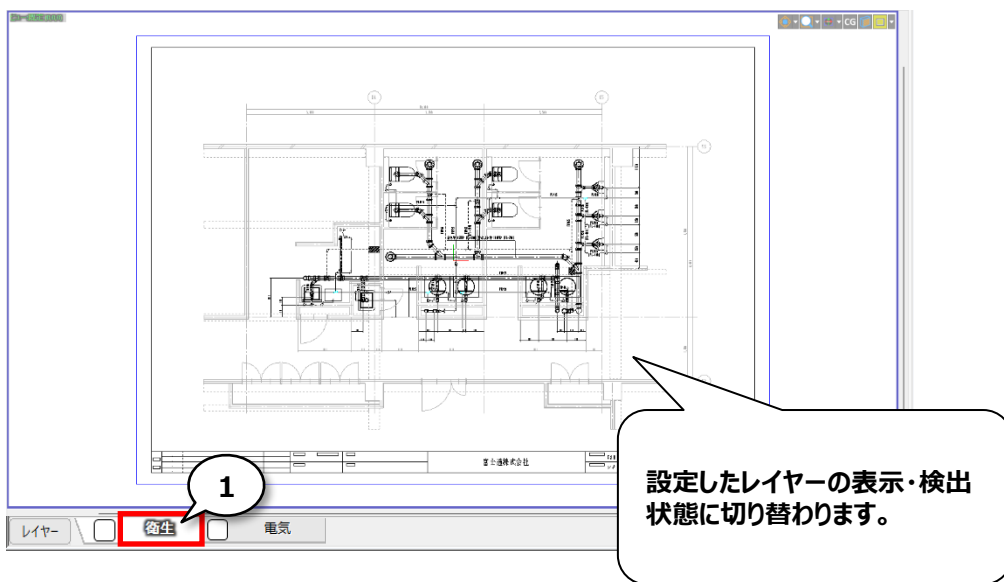
登録したレイヤーシートへ表示を切り替えます。「シート」をクリックし、「レイヤー」へ変更します。



レイヤーシート名「電気」をクリックします。

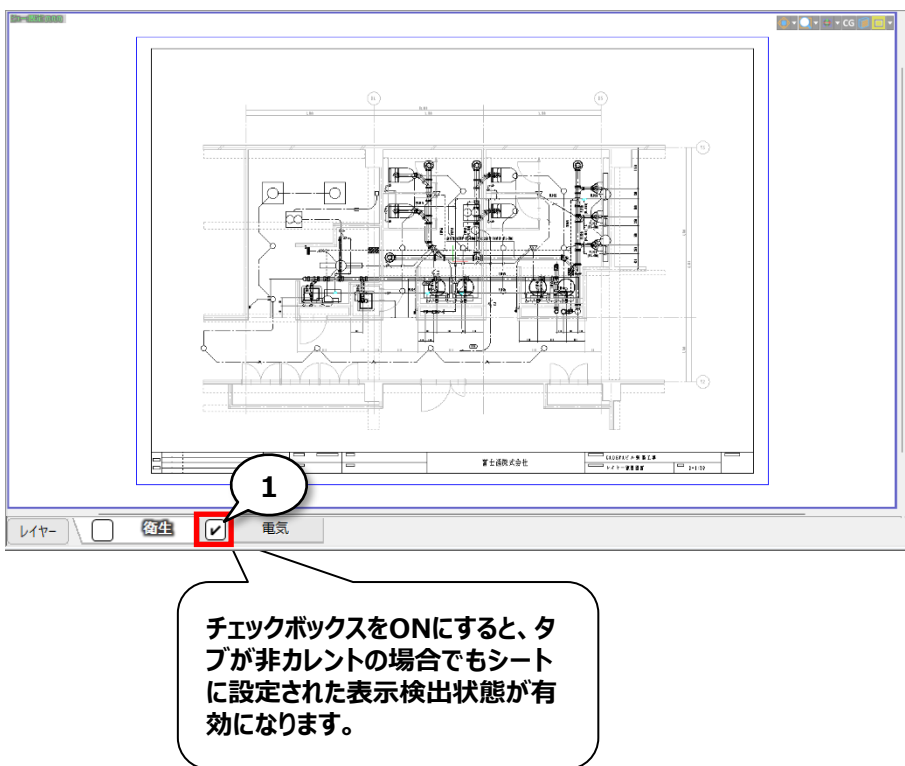


レイヤーシート名「衛生」をクリックします。



➤ 非カレントレイヤーシートの一時表示

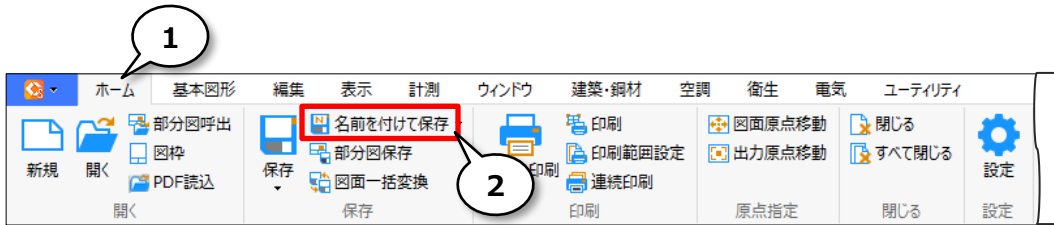
非カレントレイヤーシートのオブジェクトを表示します。
「電気」のチェックボックスをONにします。



5. 図面を保存しましょう

➤ 名前を付けて保存する

リボンの「ホーム」から「名前を付けて保存」をクリックします。



ファイル名を入力し、「保存」をクリックします。



